

しちなし

社会福祉法人くちなし
セルプ・ガーデンハウス
 障害者支援施設
 障害福祉サービス事業所
 〒267-0057 千葉市緑区大木戸町1423-3
 TEL 043-295-7401(代)
 FAX 043-295-7406
 発行人 小林 正継
 編集 広報委員会

「感謝の気持ちを忘れずに 気づく心・感じる心を大切に…」



授産作業でオリジナルTシャツ・マグカップの作成

移り変わり、さらに平成

者総合支援法へと法律が

障害者自立支援法、障害

では措置制度、契約制度

成12年から、障害者関連

礎構造改革が行われた平

大きく変化し、社会福祉基

この25年、時代は大

る生活を送っていました。

通して賑やかで活気のある

行うようになり、年間を

から外部への出演活動も

も誕生し、施設内の活動

も誕生し、施設内の活動

も誕生し、施設内の活動

も誕生し、施設内の活動

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

国内外から多くの見学者が訪

交流を展開する事業内容に、

産内容、そして積極的な地域

様々な創作品の制作を行う授

建物と、PC操作の取得や

的施設を開設し、当時は画期

の就労系)として入所・通所

身体障害者授産施設(現在は

は25周年を迎えました。

た『セルプ・ガーデンハウス』

を経て平成12年4月に開設し

たちの9年間の施設建設運動

障害の子を持つ6人の母親

利用者の多くも加齢

生活に介助・支援が必

要になる場面が増え、

平成24年度からは生活介護

事業に移行しました。また

新型コロナウイルス流行での行動制

限による心身の衰えも感じ

ます。コロナ前の日常に少

しずつ戻していきながら、

現在は「毎日を楽しく過ご

す」ことを目的とした生活を

送っています。

今日に至るまで、本当に

たくさんの方々からご支援・

ご協力をいただきました。

施設建設運動時から変わら

ずご支援を続けてくださっ

ている方もいます。この

場を借りて厚く御礼を申し

上げます。本日に、本日に

ありがとうございます！

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

ありがとうございます！

セルプ・ガーデンハウス

開設25周年を迎えて

社会福祉法人くちなし 理事長 小林 正継



韓国の施設とも交流していました

家族がつなぐ笑顔の時間 ～見守り支援～



利用者の皆様にとって、掛けがえのないファミリー会のサポートですが、先のコロナ感染拡大によって一旦活動が休止となりました。その後、活動再開にあたり、ファミリーの高齢化や世代交代が顕在化しました。その結果、以前のような内容の活動が難しくなる中で、「なんとか、ファミリー会として施設に貢献できる活動をしたい」「会員同士の親睦も図っていききたい」と話し合わせ、スタートすることとなったのが『見守り支援』です。そこで、実際に携わって下さった会員のお二方から、スタートからの約一年を振り返って頂き、その思いや交流の様子を綴っていただきました。



ファミリー会会長 沼田幸子様
セルプ・ガーデンハウスと共にファミリー会も創立25周年を迎え、元気の会員が多かったのも今は昔、すっかり弱ってしまわれた方々などご事情で活動に参加できない方ばかりとなりました。居室清掃、草取り等々参加出来なくなつて久しく、会員間や利用者、職員の方々の交流もなくなつてしまいました。
今のファミリー会に出来る活動として、休日にご利用者と過ごす『見守り支援』が昨年の総会で決まりました。不安もありましたがすぐに利用者の皆様に受け入れていただき楽しい時間を持つことが出来ています。まだまだ改善すべき点がありますが、利用者と一緒により良い形を探るのも楽しみです。



見守り支援

笠井かつ子様

20余年前にご利用者、施設の方々、家族との三位一体を目指してファミリー会が発足しました。小さな力ではありましたが、利用者への想いとともによりファミリー会として施設への協力を続けて参りました。そして現在は見守り支援という唯一の活動をしております。

休日の2時間、利用者の方々とゲーム遊び、手芸、パズル、お喋り、声かけと色々な賑やかなり、元気が様々に安心します。

家族から離れた生活の中で私たちがの触れ合いで懐かしさと安心を感じて良い時間になることを祈り見守り支援を続けております。

また、利用者さんの笑顔は私たちファミリーにとりましても生きていく力になっております。皆様のこの活動へのご参加を心よりお待ちしております。

渋谷幕張高校吹奏楽部の皆さんに感謝!

3月27日(木)セルプ・ガーデンハウスに渋谷幕張高校吹奏楽部の皆さんが来所して演奏会をしていただきました。コロナ禍以来6年ぶりの演奏会で、利用者さん達は日にちが決まった日からワクワクと心待ちにしていました。渋谷幕張高校の皆さんは施設の建設運動時から30年以上も募金活動などの支援を続けていただいております。

いざ演奏が始まると館内いっぱい素敵な楽器の音色が広がり、奏でられる音楽の世界に引き込まれてしまいました。知っているJ-POPの曲や高校生の素晴らしいダンスに利用者さん達は大感激!手拍子で盛り上がりました。渋谷幕張高校吹奏楽部の皆さんに音楽で元気をもらいました。



6月22日(日)には渋谷幕張高校吹奏楽部定期演奏会に手話サークルFLDが招待をいただき、手話ダンスを3曲発表しました。利用者さん達は初めての発表でも緊張したとのことでしたが、観客の皆さんの大きな拍手と共に楽しく発表することができました。今後も交流が続いていくことを楽しみにしています。渋谷幕張高校吹奏楽部の皆さん、ありがとうございます。

千葉交響楽団

定期演奏会へのご招待

長年施設の行事の際に音響関係のご協力を頂いている株式会社コンドー楽器の小林正明様よりご案内いただき、2月16日(日)君津市民文化ホールで開催された「千葉交響楽団 第118回定期演奏会」にご招待いただきました。

今回、通所の皆さんが鑑賞させて頂きました。普段なかなか聞く機会のないオーケストラによる生演奏は、とても迫力があり、優雅で素敵な時間を過ごさせていただきました。「クラリネットが素敵だった」「指揮がかっこよかった」「すぐよかった」等、利用者さんから嬉しそうな感想が聞こえてきました。貴重な機会がありました。ありがとうございました。

これからも利用者の皆さんに素敵な体験が出来る機会があればとても嬉しく思います。



新規ボランティアさん受け入れ開始

マジックショーも開催!

昨年度、ボランティア講習を受講した際に「千葉マジシャンズクラブ」さんのご紹介を受けました。

2月10日(月)当施設アリーナにて4名の方々が色々な内容のマジックを披露してくださいました。「生でマジック見るのは初めて!」「どんなマジックやるのかな?」など利用者さんも興味深々です。最前列で大きなリアクション、大きな声を出して喜んでいらっしゃる方、タネを見破ろうと真剣に見入っている方など、思い思いに楽しませていただきました。次回はもっとこうしたいとショーのアイデアも沸かされた様でしたので、今秋に予定している次のショーも利用者の皆さんと楽しみにしています。

また、今年度も新たなボランティアさんが来てくれています。毎月数回ほど施設に足を運んで下さっており「出来るうちに人の役に立ちたい」「利用者の皆さんが喜んで下さることがとても嬉しくやりがいがあります」とおっしゃってくださいています。

ファミリーさんの見守り支援も含め、色々な方がセーブ・ガーデンハウスに興味を持ち利用者の皆さんの為にと支援して下さいます。皆様の温かいご支援に感謝しております。



HUGOを使って安全・安心な生活を

利用者さんのトイレ介助などに活躍している移乗機器「ささえ手」に加え、令和6年度より新しく移乗サポートロボット「HUGO」が導入されました。導入前、職員は業者の方より正しい使い方の説明を受けて、安全に移乗介助するための方法を学びました。職員も実際にHUGOを体験して介助される利用者さんの気持ちを感じ、利用者さんが不安にならないような操作方法を模索しました。利用者さんにもHUGOを体験してもらい、「安心感がある」という声が聞かれました。

HUGOは移乗介助以外に除圧にも効果があります。車いすに長時間座っていると、お尻に負担がかかってしまうためHUGOで数十分間除圧をすると大変楽になるそうです。

時代と共に便利な福祉機器が増えていきます。HUGOを上手く取り入れて、介助される側もする側も安全・安心な生活を送り、笑顔につながっていくように日々心を込めて支援をしていきます。





も再開しました。以前はいくつかのお店から希望を取り出かけていましたが、今回はお店をココスにしぼり希望を取りました。メニュー表を広げ「どれにしよう? オムライスもいいな。ハンバーグも食べたい。デザートは?」なんて選びながら。いつもは献立表を見れば今日のメニューが載っていますものね。その日の気分で食べた物が食べられるのは嬉しいですね。

いつもと一味違う食事

わくわく デリバリー昼食



食事は生きるために必要なもの。そして、皆さんが楽しみにしている時間でもありますね。テラスで皆と食べる食事でも美味しいですが、たまにはいつもと違ったメニュー、場所で食べたいですね。土気には様々なファミリーストランがあります。今回、希望者はガストのデリバリーサービスを利用し気分を変えて日向ぼっこ広場等で食べる事にし、普段なかなかゆっくり話ができない小林施設長も一緒に食べることにしました。皆さんどんな話をしたのでしょうか? (M)

一般教養講座

自分に合った車いすを作るって!

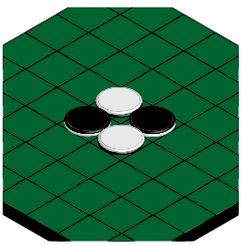


3月21日(金)「車いすを作る前に知っておきたいこと」というテーマで一般教養講座が開催されました。



車いすは、たまに少し使うくらいであれば多少身体に合っていないなくてもあまり問題になりませんが、いつも使うマイカーとなると話は別です。乗り心地の良さや操作のしやすさは使う人に合わせて作る必要があります。車いすはみんな同じではないのです。また手帳で作るとなると手続きがいりあるあります。いまずぐ欲しくても納品まで数カ月かかります。そのため、近いうちに必要になるかもしれないと感じたら、早めのタイミングでの準備が必要になります。講義では車いすユーザーや関心の高い利用者さんからの質問も相次ぎ、車いすに関するいろいろなについて学べるひとときとなりました。

オセロ大会、今年も頑張った...



6月11日(水)かずさアカデミアホールにて「第55回県身協オセロ大会」が開催されました。今年も昨年同様あまり天候には恵まれませんでした。が、県内20施設80名の施設利用者さんが参加しました。

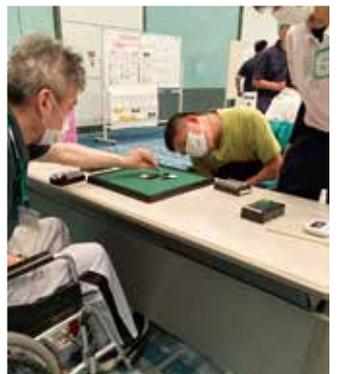
前年、我がセルプチームは団体戦Ⅱ部で優勝という快挙を達成したため、本年はⅠ部での参加となりました。大会はトーナメント戦のため1回戦に勝つか負けるかで成績が大きく変わります。Ⅰ部残留も決まります。どこの施設も強豪ですが対戦相手がどこになるのかも重要です。さてさて強豪ぞろいのⅠ部でどうなりますことやら……

結果はというと……残念ではありましたが、



教訓
「初戦が大事」
「くじ運もね」

惜しい試合が何試合もありました。(圧勝ならぬ)圧敗でした」と話すメンバーもいる一方で「初戦は負けたけど二戦目は勝つてよかった」、「頑張った」と話すメンバーもおり内容的には次回大会につながるものとなりました。来年また頑張りますよ!





大好きなネコちゃんど!



映画館を満喫!!

昨年同様利用者の皆さんと職員で計画し個別希望旅行を実施しています。個別旅行は利用者一人ひとりの希望やペースに合わせたもので計画・実施し、今年で2年目を迎えました。今回は実施した中から入所1名の方を紹介したいと思います。

入所の男性利用者さんは船橋まで電車で出かけて、イトーヨーカドーや東武百貨店での買い物を楽しみたいという希望があり、事前に担当職員さんと一緒に計画し、予算を管理、買いたい物や食事を決定して実施しています。実施前は少し緊張気味ではありましたが、帰ってきた際は非常に満足していた印象でした。特別な事でなくても、自分で考えて選択し決定した計画の元、いつもと違う景色や空気に触れて、行きたかった場所ややりたいことを自分で決める楽しさは普段の生活の中では

味わえない自由さや特別感があります。それぞれ旅行中の体験などを通じて、自分は何が好きか、どんなことに興味があるのか考えるきっかけにもなると思います。個別旅行の取り組みが2年目を迎える「利用者」の「行きたい場所ややりたい事」を大切にして、自分で考えた計画を実施することで人生をより豊かにするための貴重な機会だと感じます。これからも利用者の人生が彩るような旅行と一緒に考えていきたいと感じました。



となりのトトロ、となりのワタシ(ハハ)

行きたら、を呼べる旅 2回目の個別希望旅行



ボッチャ講習会と スポーツ大会への参加

1月31日(金)と3月21日(金)で入所&通所合同でボッチャの講習会が行われました。今年も市原ボッチャクラブから門脇先生が施設を来所され、競技の簡単なルール説明、準備体操、実際にチームを作つての総当たり戦を行いました。目標球にいかになづけるかを競うだけでなく相手のボールをぶつけて自分のボールが近くなったり、ボールとボールの上に乗っける技やテクニクなども披露して頂けました。7年度も4回程開催を予定しており、ボッチャを通じて身体を動かす楽しさや達成感を味わえたひと時だと感じました。



また、5月21日(水)は「千葉市身体障害者スポーツ大会」が千葉市ハートモニアプラザで行われました。セルプ・ガーデンハウスでは入所5名&通所5名の計10名の選手達が出場しました。昨年度、千葉市の補助金を利用し、ボッチャのランプ(勾配補助器具)を増台しました。車椅子を利用する方でボールを投げる事が難しい方でも簡単



に投げる事ができるのでより参加がしやすくなっています。今年のメンバは昨年も参加していたメンバーだったので事前の練習では昨年でわかった自身の課題などに着目して練習に励みました。今回の大会では昨年よりも良い成績を残せて満足した方、思った結果が残せなかった方など様々ありましたが、勝ち負けだけではなく競技を通じて挑戦する心、諦めない気持ち、仲間との絆などスポーツの良さを感じることができた大会だと感じました。また、来年は技術や戦術にも特化してより強くなっていきたいと思っています。



防災訓練

いざという時に備えて

防災訓練は、いざという時に慌てる
ことがないように、年4回の頻度で実
施しています。

3月19(水)日には、火災が夜間に起こ
り職員が2人しかいない設定で訓練を
行いました。コロナ禍を経て久々に大野消防
団の方を招致して、避難訓練に参加して頂き、
評価・指導を仰ぐことが出来ました。

また6月10(火)日には、火災が日中に発生し
た場合で、職員が多くなる設定で行いました。
この日は防災用機材の保守点検を兼ねて、
委託をしている(株)関東消防機材の方から防
災用機材の説明、消火器を使った初期消火の
指導を受けました。こうした積み重ねによ
って、今では皆が慌てることなく、放送や職
員の指示を正しく聞き取って、避難場所、避
難経路を確認して、避難ができるようになって
います。

一方、利用者さんが加齢などにより、体力
や運動機能が低下しているなど、新たな課題
が浮き彫りになることもあります。現在では、
車椅子を使用している利用者さんが増えてお
り、避難経路には障害物があつてはならないし、
車椅子自体も乗り捨てられれば、障害物にな
ってしまふといった課題があります。当施設
では、こうした課題をクリ
アしながら、
これから防
災訓練に取り
組んで参りま
す。



千葉県知事・市長選挙 (不在者投票)

3月11日(火)千葉県
知事・千葉市長選挙
不在者投票を当施設
で行いました。



今回、投票された
数名の方に何故、投
票を行ったのか聞いて
みました。
Aさんは、
「少しでも社会が良くなり、福祉の環境が良くな
って欲しいと思い投票しました」
Bさんは、
「障害者に優しい世の中になってほしいから」
Cさんは、
「税金を下げて欲しい。政党ではなく、立候補者
の公約を観て聴いて毎回考えたいから」
Dさんは、
「この人に投票したいと思える人がいたから。ま
た、親から選挙には必ず行くことによつて自分
の意思を伝えることが出来ると言われてきたか
ら」
Eさんは、
「自分の意志・意見がある。選挙で自分の意志・
意見をのべているつもり」

今回、不在者投票を行われた19名の内、一部
の方にお話を伺いましたが、皆さんしっかりと
した考えを持たれていました。選挙や投票は、
社会へ自分の意見を伝えるとても大事な機会で
す。皆さんの「意見」や「思い」が社会に伝わり、
誰もが住みやすい世の中になりますように。

季節を感じましょう

今年も1月に新年会を行いました。今年の
全体の目標は「いつも笑顔で人の良いところ
を見てみると幸せが近づきます」というもの
です。

皆さんにとって、幸せとは何でしょうか？1
人ひとりの幸せは違うかもしれませんが、人
の嫌なところばかり見るより良いところに気
づける方が素敵な気持ちでいられると思いま
せんか？それに、にこにこ笑顔の人のまわり
には人が集まりますね(笑)笑顔は伝染します。
2月には節分会。蛇年の年女、年男たちが
皆で鬼退治やチーム対抗の風船渡しリレーと
雑学クイズで盛り上がりました。そしてお昼
には恵方巻と可愛

い鬼のプリンも食べまし
た。春には施設近隣へお花
見ドライブにも出かけまし
た。村田川を優雅に泳ぐ鯉
のぼりも同時に見る事がで
き、楽しみました。

他にも施設ではひな祭り
や端午の節句の装飾、季節
のお花等が飾られています。
施設内で生活している
とどうしても季節の移り変
わりを肌で感じる
ことが少なくなつ
てしまいます。季
節の行事に参加
し、楽しむことで
皆さんの幸せを願
い、そして生活が
彩られると良いと
思います。



永年勤続表彰

今回の表彰者は、勤続25年が2名・勤続10年が5名の計7名です。一人ずつのコメントをいただきました。

勤続25年表彰



下山 忠則

この度、勤続25年を迎えました。思えば必死に利用者さんと向き合い、あつという間の日々でした。利用者さん、ファミリーさんの笑顔や「ありがとう」の言葉がこれまでの自分を支えてくれました。心より感謝申し上げます。



中元 弘樹

利用者さんの生活は日々変化していきまが、これまでの自分の経験をいかし、施設の発展と利用者さんのために誠心誠意努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

このたび、施設開設当初より務めさせていただき、勤続25年を迎えることができました。長きにわたり支えてくださった利用者さん・ご家族の皆さま、関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

これまで受けたご恩を返せるよう、施設建設された方々の思いを受け継ぎながら、共に働く仲間達と協力し、利用者さんが安心して過ごせる施設作りと地域の皆さまとのつながりを大切に福祉の充実と支え合える地域作りに力を尽くしてまいります。

勤続10年表彰



佐藤 幹枝

セルプの利用者さんと出会って10年が経ちました。やっぱり私は人が好きなんだなあと思う日々です。時には驚かされ時には一緒に笑いそして時には皆さんの笑顔や言葉に癒され、利用者さんを通して仕事をさせていただき心の豊かさやいっつになっても向上心を忘れてはいけないことを教えてもらっています。人生何が起こるか分からない。だから今この時を大切に、目の前の人を大切に。その気持ちを忘れず頑張ります。



渡邊 はるか

福祉の職未経験で不安と緊張の中セルプ・ガーデンハウスに入職して、あつという間の10年が経ちました。面接の日、テラスで緊張いっぱい私に、お茶を出してくれた利用者さんの笑顔は今もはつきりと覚えています。個性豊かな利用者の方々と活動する中で泣いたり笑ったり、一緒にたくさん仕事を体験させていただきました。これからも利用者さんが充実した日々を送れるよう、必要な知識や技術を学び、支援に活かしていきたいと思っております。



愛敬 幸恵

時の経過は早く、お陰様で入職10年を迎える事が出来ました。日頃より皆様にお声をかけていただき助けていただき、どうか過ぎ去る事が出来ました。ありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いたします。



吉田 陽子

私は事務パートとしてセルプ・ガーデンハウスに就職しました。途中産休・育休をいただき、通所生活支援員、入所生活支援員となり、この度勤続10年を迎えることが出来ました。入所生活支援員になった頃は覚えることが山のように、夕食時にお箸を持ったまま眠ってしまうこともありました。それでもこうして10年勤続出来たのは、丁寧に教えてくださった先輩方、「大丈夫だよ、ありがとう」と優しく声をかけてくれる利用者みなさんのおかげだと思っています。これからも笑顔で楽しく頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



豊田 孝秀

10年間あつという間でした。大変だったけど色々なことがあって楽しかったです。これからも頑張つてやっついていくつもりです。



令和7年度新体制事業計画・予算/令和6年度事業報告・決算が承認

令和7年度事業計画、同予算は3月28日(金)に、令和6年度事業報告、同決算は5月30日(金)・6月16日(月)に開催された理事会と評議員会にて承認されました。

法人・障害者支援施設・障害福祉サービス事業所・特定相談支援事業・短期入所・日中一時支援事業の6事業についての計画と予算です。

令和7年度法人事業計画は、『意思決定支援と地域移行に向けた取組み』、『利用者・家族の状況に応じたサービスの提供』、『地域に必要とされる社会福祉法人への取り組み』、『働きやすい職場環境への取組み』、『BCPを基にした非常時訓練の実施』、『虐待防止・身体拘束適正化へ向けた取組み』などを挙げています。

主な内容としては、『意思決定支援と地域移行に向けた取組み』では、職員が利用者さんの生育歴や趣向などより深く1人1人を理解・認識できることが重要になるため、時間を掛けながら

取り組み、利用者さんが自分で選択をする場面を増やしていくことで意識や習慣を養っていきます。地域移行に関しては、利用者さんへの説明や情報提供を丁寧

に行っていく、理解を深めながら誤解が生じないように取組んでいきます。

障害者支援施設(定員:33名)では、生活介護事業は趣味的活動、生産活動、レクリエーション、クラブ活動等、

また入浴や食事介助等、生活に関わる介助を中心とした施設入所支援事業を行います。また、地域移行や意思決定支援に関する取組を進め「自己選択、自己責任」

ができる環境を創ることのできる人らしく生活することを目指します。さらに館内にWi-Fi設置をし、インターネ

ット環境を整え利用者満足度を高めてもらい生活の質の向上に努めます。

障害福祉サービス事業所(定員:20名)は、生活介護事業を行い、趣味的活動、生産活動を中心にレクリエーションなども取り入れて生きがい作りの場としての活動を行っています。

特定相談支援事業は、地域に住んでいる障害をもった方の相談を受けながら、サービス利用計画を作成するとともに福祉サービスの提供などにつなげていきます。その他シヨートステイ、公益事業の日中一時支援事業計画も策定さ

れています。予算については、当法人の経理規程に基づき、令和6年度比458万円増の2億6,931万円を予算を組みました。

社会福祉法人くちなし役員
(任期 令和7年から令和9年定時評議員会の終結の時まで)

- 理事長 小林正継
- 理事 石本春樹
- 理事 豊田恵子
- 理事 中元弘樹
- 理事 藤代一浩
- 理事 渡辺庸浩
- 監事 大原淳一
- 監事 山崎正義

社会福祉法人くちなし評議員
(任期 令和7年から令和11年定時評議員会の終結の時まで)

- 評議員 浅尾英夫
 - 評議員 石塚孝雄
 - 評議員 齊藤茂雄
 - 評議員 須賀田正明
 - 評議員 杉山浩
 - 評議員 長崎幹雄
 - 評議員 丸島昭男
- (五十音順)

社会福祉法人くちなし 第25期決算報告

令和6年度(第25期)決算は、令和7年5月30日の理事会、6月16日の評議員会において承認されましたのでご報告します。

千葉県緑区大木戸町1423-3 社会福祉法人くちなし 理事長 小林正継

貸借対照表(令和7年3月31日現在)				資金収支計算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)			
資産の部		負債の部		勘定科目		収入・支出計 収支差額	
流動資産	127,659	流動負債(事業未払金ほか)	24,026	事業活動による収支	収入	276,944	280,806
現金・預金	85,206				障害福祉サービス等事業収入	1,629	
未収金ほか	42,453				経常経費寄附金収入	5	
					受取利息配当金収入	2,228	
					その他の収入		
					支出	179,354	
固定資産	800,123	固定負債(設備資金借入金ほか)	26,083		人件費支出	39,877	
基本財産(建物等)	528,551				事業費支出	44,373	
その他の固定資産	271,572				事務費支出	1,334	
					その他の支出		
		純資産	877,673	施設整備等による収支	収入	-	7,804
		基本金	107,973		施設整備等補助金収入	-	
		国庫補助金等特別積立金	397,768		支出	5,807	
		その他の積立資産	167,480		固定資産取得支出	1,997	-7,804
		次期繰越活動増減差額	204,452		ファイナンス・リース債務の返済支出		
				その他の活動による収支	収入	8,800	11,921
					積立資産取崩収入	8,800	
					支出	11,921	
					積立資産支出		-3,121
					その他の活動による支出		
資産の部合計	927,782	負債の部合計	927,782	当期資金収支差額合計			4,943